

# RWS 製品リリースポリシー

2022年9月

## 目次

まとめ .....	3
リリースタイプ .....	3
機能リリース .....	3
定義 .....	3
バージョン管理 .....	3
インストール .....	4
サポート .....	4
長期サポートに関するリリース .....	4
定義 .....	4
バージョン管理 .....	4
インストール .....	4
サポート .....	4
累積アップデート .....	5
定義 .....	5
バージョン管理 .....	5
インストール .....	5
サポート .....	5
ホットフィックス .....	6
定義 .....	6
バージョン管理 .....	6
インストール .....	6
サポート .....	6
製品サポート .....	6
製品ライフサイクル管理 .....	6
完全サポート .....	6
拡張サポート .....	7
サポート終了後 .....	7
製品サポートタイプの概要 .....	7
付録 1 - RWS ソフトウェア製品とサポート期間の概要 .....	9

## まとめ

この製品リリースポリシーでは、さまざまな製品リリースタイプと関連するサポート有効期間を定めています。これらは、RWSの永続的／ライセンス期限付きオンプレミスソフトウェア製品とそのコネクタ（付録1を参照）で利用することができ、2021年1月1日以降に提供されるすべてのオンプレミスソフトウェア製品とそのコネクタのリリースに適用されます。ホスト型、管理型、SaaSベースのRWSソフトウェアについてはすべて、個別のRWSサービスカタログが適用されます。ご利用製品のRWSサービスカタログは、RWSの担当者にお申し付けください。

RWS製品とサポート＆メンテナンス契約の価値を最大限に引き出せるよう、ご利用ソフトウェアを可能な限り常に最新のリリースにアップデートしておくことをお勧めします。

## リリースタイプ

### 機能リリース

#### 定義

機能リリースとは定期的な製品リリースで、新機能に加えて既存機能の大幅な改善や更新、プラットフォームサポートの更新、拡張リクエスト、バグ修正などが含まれます。

機能リリースは、製品リリースを常に最新の状態にしておくことでご利用製品の価値を最大限に引き出したい場合に適したオプションです。

#### バージョン管理

機能リリースの識別は、製品名の後に付加したリリースのバージョン番号で行います。バージョンの改定には、マイナーなものと同メジャーなものがあります。

マイナーなバージョン改定に該当するのは次の場合です。

- アップデートによる影響が小さい場合
- 下位互換性がある場合（ただし、リリースノートに別段の記載がある場合を除く）
- 容易にアップグレードを行える場合
- Service Release（SR）と呼ばれる一部の製品が対象の場合

メジャーなバージョン改定に該当するのは次の場合です。

- APIの変更など、重大な変更が含まれる場合
- 製品の以前の機能リリースで非推奨だった機能を削除または変更する場合

「MultiTrans 7.0」や「Trados Studio 2019」は、メジャーなバージョン改定を適用した機能リリースの例です。「TMS 12.5」や「Trados Studio 2019 SR1」は、マイナーなバージョン改定を適用した例です。

## インストール

機能リリースにはスタンドアロンのインストーラが含まれているため、以前の機能リリースをインストールする必要はありません。この例外については、リリースノートをご覧ください。

## サポート

最初のリリース日時点における、ご利用製品に対する機能リリースのサポート期間については、付録 1 をご覧ください。

ホットフィックスが発行された場合、特定の機能リリースをインストールするには、最新の累積アップデート(利用可能な場合)が必要になります。

## 長期サポートに関するリリース

### 定義

長期サポート (LTS) に関するリリースとは、指定期間が機能リリースの標準サポート期間よりも長い機能リリースです。一部の RWS 製品は、LTS バージョンのリリース対象外となります。この概要については、付録 1 をご覧ください。

LTS リリースは、新しい機能リリースが提供されるたびに毎回アップグレードすることを望まず、アップグレードの準備に時間が必要なお客様を対象としています。LTS リリースは、新しい機能リリースへのアップグレードを 2~4 年ごとに行うお客様に適したオプションです。

次回の LTS リリースまでにお客様に対するサポートが途切れることのないよう、最新の LTS リリースの完全サポートが終了する 12 か月前までに、機能リリースを LTS リリースとしてご案内します。機能リリースを LTS リリースとしてご案内する場合は、リリース時点でそれをお知らせします。

### バージョン管理

LTS リリースの識別は、「LTS」の付いた機能リリースバージョン番号で行います。これは、LTS リリースは基本的に、特別なサポートが適用される機能リリースであるためです。たとえば、「Tridion Sites 9.5 LTS」という形式になります。

## インストール

機能リリースと同様です。

## サポート

最初のリリース日時点における、ご利用製品に対する LTS リリースのサポート期間については、付録 1 をご覧ください。

ホットフィックスが発行された場合、インストールする特定の LTS リリースに対する最新の累積アップデート(利用可能な場合)が必要になります。

## 累積アップデート

### 定義

累積アップデートとは、前回の累積アップデート、または（累積アップデートがリリースされたことがない場合には）機能リリース以降にリリースされたプラットフォームサポートのアップデートとすべてのホットフィックスを含む、定期的な製品リリースです。

累積アップデートは、アップデートによる影響が小さいために下位互換性があり、リリースノートに別段の記載がある場合を除いて、新機能や既存の機能に対する大幅な改善および更新を含まないことから、アップグレードが比較的容易です。

LTS バージョンをリリースする RWS 製品では、LTS リリースの累積アップデートのみをリリースする場合があります。このような製品の場合、機能リリースに基づいてアップデートを行うお客様には、プラットフォームサポートのアップデートは適用せずに、次回の機能リリースまたは LTS リリースにアップグレードすることをお勧めします。

### バージョン管理

累積アップデートの識別は、対応する機能リリースバージョンに、「Cumulative Update」（または CU）と累積アップデートのバージョンを付加して行います。たとえば、「TMS 12.4 Cumulative Update 18」や「Trados Studio 2019 SR1 CU6」という形式になります。一部の製品では、バージョン番号の 3 桁目を使用して、累積アップデートのバージョン番号を示します（例：「Contenta 5.8.1」）。

### インストール

累積アップデートには、スタンドアロンのインストーラ（以前の機能リリースや累積アップデートのインストールは不要）、または増分インストーラ（最新の機能リリースまたは累積アップデートのインストールが必要）のいずれかが含まれます。これについては、リリースノートをご覧ください。

### サポート

LTS リリース／機能リリース、およびそのリリース向けに以前にリリースされた累積アップデート（リリースされていた場合）はすべて、新しい累積アップデートに置き換えられます。

新しい累積アップデートのサポート有効期間は、以前の累積アップデート、または（以前に累積アップデートがリリースされていない場合には）LTS リリース／機能リリースのサポート有効期間の残存期間になります。そのため、LTS リリース／機能リリースのサポート有効期間全体の長さが、累積アップデートのリリースによる影響を受けることはありません。

ホットフィックスが発行された場合、インストールするリリースに対する最新の累積アップデート（利用可能な場合）が必要になります。

## ホットフィックス

### 定義

ホットフィックスとは、通常の機能リリースまで延期できないほど重大と思われる不具合が製品に見つかった場合に発行される、不具合に対処するための修正を含む単一のパッケージです。

不具合の深刻度が重大（P1）または高（P2）の場合にのみ、ホットフィックスが検討されます。ただし、RWSは、お客様に対する影響や技術的な複雑さ、利用可能な回避策、スケジュールを考慮して、ホットフィックスをリリースするかどうかを最終決定します。RWS カスタマーサポートサービスポリシーをご覧ください。

### バージョン管理

ホットフィックスパッケージの識別は、ホットフィックスの適用により対処される不具合に紐づけられた番号と、対象となる機能リリースのバージョンで行います。

### インストール

ホットフィックスをインストールする場合、インストールする機能リリースに対する最新の累積アップデート（利用可能な場合）が必要になります。

ホットフィックスパッケージは、カスタマーサポートを通じてお客様に提供されます。これには、ホットフィックスの依存関係、目的、インストールの詳細を記載した README ファイルが含まれています。

### サポート

LTS リリース／機能リリース／累積アップデートのサポート有効期間が、ホットフィックスのリリースによる影響を受けることはありません。ホットフィックスのサポート自体は、ホットフィックスのリリース対象である LTS リリース／機能リリース／累積アップデートのサポート有効期間に従います。つまり、より新しいホットフィックスや累積アップデートに置き換えられない限り、そのリリースのサポートが終了すると同時にサポートが終了します。

## 製品サポート

### 製品ライフサイクル管理

#### 完全サポート

完全サポートフェーズでは、製品リリースに対するメンテナンスとサポートが積極的に行われます。完全サポートでは、製品リリースに対するプラットフォームサポートのアップデート、ホットフィックス、セキュリティフィックス、累積アップデートのリリースが定期的に評価されます。

## 拡張サポート

特定の製品リリースでは、完全サポート終了時の有料オプションとして延長サポートもご利用いただけます。このオプションでは、最新の製品リリースへのアップグレードを計画・実行できるようにするための追加のサポート&メンテナンスサービスを提供します。

注記：このオプションには、RWS とお客様との間で追加のサポート契約の締結が必要です。

## サポート終了後

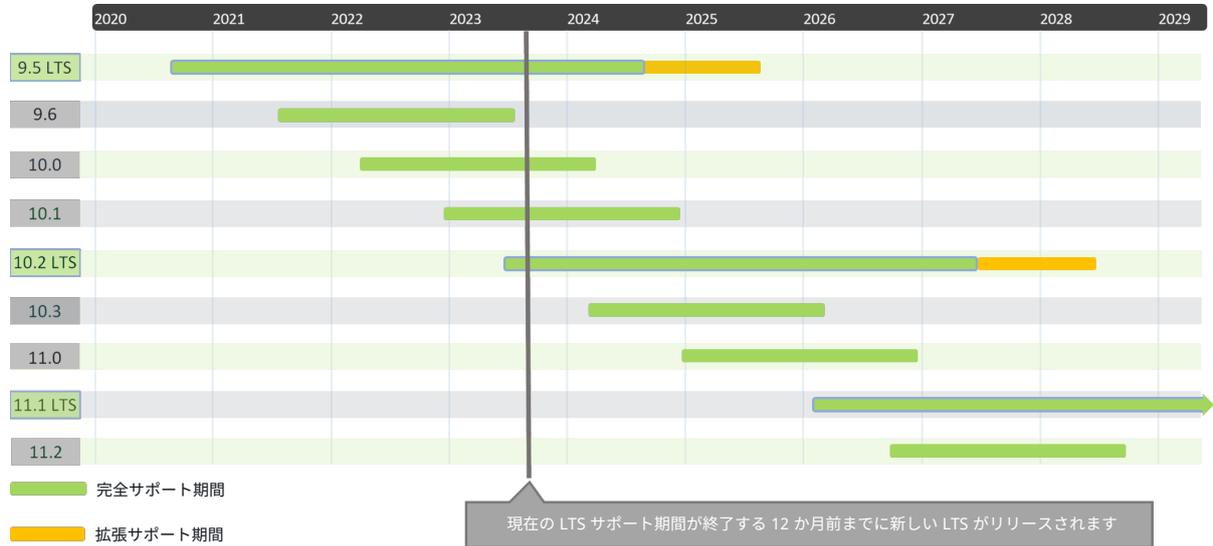
終了した製品リリースは、RWS による直接サポートの対象外となります。その場合、オンラインのナレッジベース、ドキュメント、コミュニティへのアクセスのみが可能となります。

## 製品サポートタイプの概要

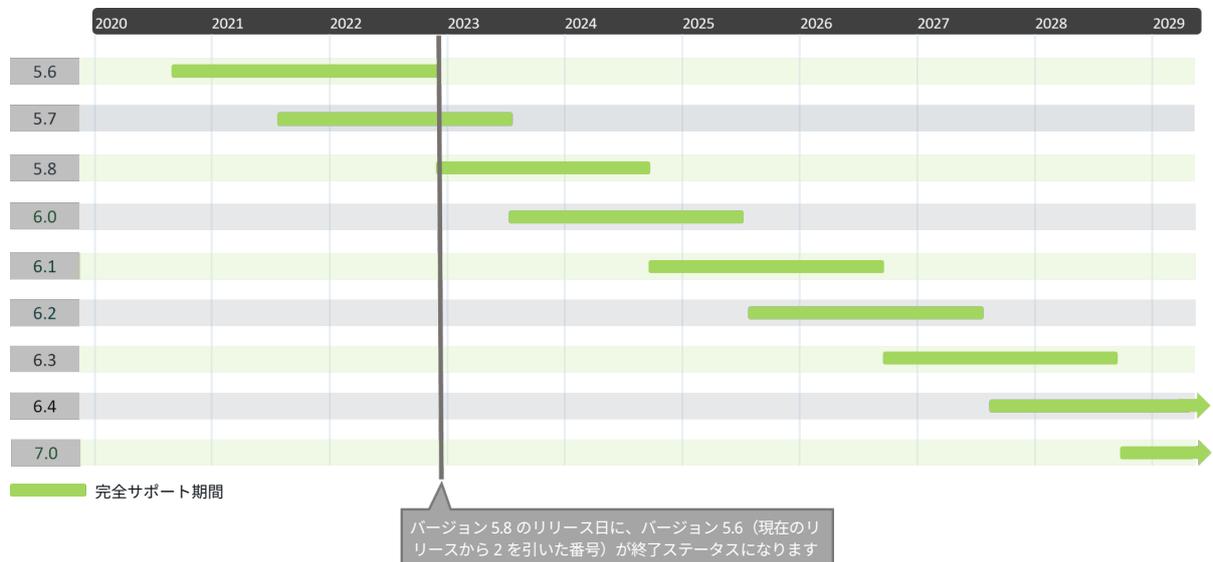
	完全サポート	拡張サポート	サポート終了後
オンラインのナレッジベース、ドキュメント、コミュニティへのアクセス	✓	✓	✓
サポートチケットの発行により、本番システム関連の問題について支援を得る	✓	\$	-
サポートチケットの発行により、開発システム関連の問題について支援を得る	✓	-	-
サポートチケットの発行により、インストールの制限またはアップグレードに関する問題について支援を得る	✓	-	-
サポートチケットの発行により、製品のセキュリティ関連のアップデートについて支援を得る	✓	-	-
不具合およびホットフィックス	✓	-	-
プラットフォームサポートのアップデート	✓	-	-

RWS Professional Services では、インストールやアップグレードなど、製品ライフサイクル全体にわたって追加のサポートを行うサービスパッケージを提供しています。

LTS リリースと拡張サポートを利用する製品の製品ライフサイクルスケジュールの例：



リリースサイクルに応じてリリースを終了する製品の製品ライフサイクルスケジュールの例：



## 付録 1 – RWS ソフトウェア製品とサポート期間の概要

RWS 製品リリースポリシーは、以下に示す永続的／ライセンス期限付きオンプレミスソフトウェア製品に適用され、製品ごとの一般的なサポート期間の概要を示します。

製品	完全サポート期間		拡張サポート期間	コメント
	機能リリース	LTSリリース		
<b>Trados Studio</b>	-	なし	なし	リリースサイクルによって変わります。新しいリリースの提供からリリースの終了までには6か月間の猶予期間が設定されます。
<b>Trados GroupShare</b>	-	なし	なし	リリースサイクルによって変わります。新しいリリースの提供から6か月間の猶予期間が設定されます。
<b>Trados Business Manager</b>	-	なし	なし	リリースサイクルによって変わります。新しいリリースの提供から6か月間の猶予期間が設定されます。
<b>MultiTerm</b>	-	なし	なし	リリースサイクルによって変わります。新しいリリースの提供から6か月間の猶予期間が設定されます。
<b>Passolo</b>	-	なし	なし	リリースサイクルによって変わります。新しいリリースの提供から6か月間の猶予期間が設定されます。
<b>Contenta Publishing Suite</b> • Contenta • Contenta S1000D • LiveContent S1000D • XPP	-	なし	なし	リリースサイクルによって変わります。
<b>Tridion Sites</b>	2年	3年	2年	-
<b>Tridion Docs</b>	2年	3年	2年	-
<b>Language Weaver Edge</b>	2年	4年	2年	-
<b>WorldServer</b>	2年	なし	交渉可能	-
<b>MultiTrans</b>	2年	なし	交渉可能	-
<b>TMS</b>	2年	なし	交渉可能	-

## RWSについて

RWS Holdings plcは、テクノロジーを駆使した翻訳サービス、コンテンツ管理サービス、知的財産サービスを提供するリーディングプロバイダです。RWSは、ビジネスに不可欠なコンテンツを大規模に配信し、イノベーションの保護と実現を可能にすることで、お客様が世界中の人々とつながり、新たなアイデアを提供することを支援します。

私たちのビジョンは、グローバルインテリジェンス、深い専門知識、スマートなテクノロジーを通じて、言語、コンテンツ、市場参入における課題を解決することにより、世界中の人々と組織をつなぐ橋渡しをすることです。

当社のお客様には、グローバルブランド上位100社のうちの90社、製薬会社上位10社、世界中の大手特許事務所20社のおよそ半数が含まれています。また、クライアントベースは、ヨーロッパ、アジア太平洋、北南米に広がり、テクノロジー、製薬、医療、法律、化学、自動車、行政機関、電気通信の各分野を網羅しており、5つの大陸に複数のオフィスを構えています。

1958年に設立されたRWSは、英国に本社を置き、AIM、ロンドン証券取引所規制市場に上場されています（RWS.L）。

詳細については、[www.rws.com/jp](http://www.rws.com/jp)をご覧ください。

© All Rights Reserved. ここに記載されている情報は、RWS Group\*の機密情報および専有情報とみなされます。

\* RWS Groupとは、RWS Holdings PLCおよびその関連会社および子会社の代表を意味します。